

平成21年10月期 第3四半期決算短信

平成21年9月4日

上場会社名 ナトコ株式会社

上場取引所 JQ

コード番号 4627 URL <http://www.natoco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷忠晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 粕谷健次

四半期報告書提出予定日 平成21年9月14日

TEL 0561-32-2285

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年10月期第3四半期の連結業績(平成20年11月1日～平成21年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年10月期第3四半期	7,239	—	73	—	35	—	△235	—
20年10月期第3四半期	9,700	△2.6	814	25.8	833	△26.3	353	△34.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年10月期第3四半期	△32.21	—
20年10月期第3四半期	48.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年10月期第3四半期	14,502	11,521	76.3	1,510.35
20年10月期	15,864	11,791	71.8	1,555.21

(参考) 自己資本 21年10月期第3四半期 11,062百万円 20年10月期 11,390百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年10月期	—	9.00	—	8.00	17.00
21年10月期	—	6.00	—		
21年10月期(予想)				6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年10月期の連結業績予想(平成20年11月1日～平成21年10月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,060	△22.6	210	△77.7	170	△81.9	△125	—	△17.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 —社 (社名) 除外 —社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年10月期第3四半期 7,324,800株 20年10月期 7,324,800株

② 期末自己株式数 21年10月期第3四半期 631株 20年10月期 631株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年10月期第3四半期 7,324,169株 20年10月期第3四半期 7,324,187株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱から急速に世界経済が減速したことに伴い、企業業績が悪化し、設備投資の抑制や雇用が調整されるなど極めて厳しい状況で推移してまいりましたが、世界的な景気対策の実施により最近では一部に持ち直しの兆しが見られるようになりました。

このような状況のもと、当社グループは引き続き顧客ニーズに即した製品の開発・拡販に取り組むとともに原価低減や経費削減に取り組んでまいりました。しかしながら、市場を取り巻く環境は第3四半期会計期間後半から需要の下げ止まりの兆候が見られるものの、依然厳しい状況であり、製品需要は低調に推移したため、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,239百万円となりました。利益面におきましては、売上の大幅な減少の影響に加え、「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）の適用による棚卸資産の評価損を22百万円計上したことにより、営業利益は73百万円となりました。また、関係会社貸付金に対する貸倒引当金繰入額を68百万円計上したことにより、経常利益は35百万円となりました。四半期純損益は、投資有価証券売却損を45百万円計上したことや繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産を89百万円取り崩したこと等により、235百万円の四半期純損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①塗料事業

金属用塗料分野では、第3四半期会計期間後半より需要は下げ止まり傾向ではあるものの、工作機械をはじめ金属加工産業における需要は低調に推移したため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。木工建材用塗料及び無機材用塗料分野では、市場の需要は下げ止まり感がでてきたものの、住宅着工件数は低迷しており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。その他の分野では、シンナーが価格競争によるシェア争いの激化などの影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、塗料事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は6,034百万円となりました。

②ファインケミカル事業

LCD（液晶表示装置）用微粒子は、LCDメーカーの生産調整などの影響を受け需要が激減し、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。化成品におきましても、同様の状況で推移してまいりましたが、第3四半期会計期間後半からは需要が回復傾向となってまいりました。しかしながら、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,103百万円となりました。

③その他の事業

産業廃棄物の収集運搬におきましては、第3四半期会計期間以降、廃液の収集量は回復傾向にあるものの、自動車産業の大幅な減産により廃液の収集量が減少した影響を受け、売上高は前年同期に比べ大きく減少いたしました。

その結果、その他の事業における当第3四半期連結累計期間の売上高は101百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,362百万円の減少となり、14,502百万円となりました。また、負債は、前連結会計年度末に比べ1,092百万円の減少となり、2,980百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ270百万円の減少となり、11,521百万円となりました。

資産の減少の主な要因は、有価証券が199百万円増加したものの、現金及び預金が346百万円減少、受取手形及び売掛金が703百万円減少、商品及び製品が185百万円減少、投資有価証券が187百万円減少したことによるものであります。

負債の減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が889百万円減少、賞与引当金が126百万円減少したことによるものであります。

純資産の減少の主な要因は、配当金の支払102百万円、四半期純損失235百万円計上したことにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,780百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、73百万円となりました。これは主に減価償却費が419百万円、売上債権の減少702百万円、たな卸資産の減少246百万円による資金の増加と仕入債務の減少888百万円、法人税等の税金の支払283百万円による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、67百万円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入151百万円、信託受益権及び投資有価証券の売却による収入1,402百万円による資金の増加と有形・無形固定資産の取得による支出416百万円、有価証券、信託受益権及び投資有価証券の取得による支出1,201百万円による資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、99百万円となりました。これは配当金の支払99百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月期の連結業績予想につきましては、第3四半期累計期間の業績の推移を勘案し、平成21年6月10日発表の「平成21年10月期第2四半期決算短信」に記載いたしました平成21年10月期の連結業績予想数値を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細は、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を採用しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、第1四半期連結会計期間（平成20年11月1日から平成21年1月31日まで）から、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は、それぞれ22,337千円減少し、税金等調整前四半期純損失は同額増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,685,256	4,031,797
受取手形及び売掛金	3,090,198	3,793,222
有価証券	199,967	—
商品及び製品	585,760	771,516
仕掛品	49,827	62,066
原材料及び貯蔵品	288,194	338,551
繰延税金資産	97,078	111,020
その他	701,418	600,498
貸倒引当金	△5,771	△7,096
流動資産合計	8,691,930	9,701,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,886,286	2,015,268
機械装置及び運搬具（純額）	891,351	953,975
土地	1,713,470	1,713,470
その他（純額）	378,649	218,292
有形固定資産合計	4,869,757	4,901,007
無形固定資産	138,091	114,140
投資その他の資産		
投資有価証券	572,216	759,501
繰延税金資産	6,350	75,105
その他	297,537	319,286
貸倒引当金	△73,564	△5,672
投資その他の資産合計	802,539	1,148,220
固定資産合計	5,810,388	6,163,368
資産合計	14,502,319	15,864,945
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,849,009	2,738,202
未払法人税等	8,968	90,870
賞与引当金	89,329	216,015
役員賞与引当金	3,850	28,950
その他	604,114	651,844
流動負債合計	2,555,271	3,725,883

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年10月31日)
固定負債		
退職給付引当金	80,359	43,527
役員退職慰労引当金	176,175	183,405
繰延税金負債	45,288	—
その他	123,653	120,230
固定負債合計	425,477	347,163
負債合計	2,980,748	4,073,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	2,288,760	2,288,760
利益剰余金	7,134,274	7,472,744
自己株式	△2,427	△2,427
株主資本合計	11,046,947	11,385,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,552	△32,057
為替換算調整勘定	30,696	37,243
評価・換算差額等合計	15,144	5,185
少数株主持分	459,479	401,295
純資産合計	11,521,570	11,791,898
負債純資産合計	14,502,319	15,864,945

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)
売上高	7,239,413
売上原価	5,741,915
売上総利益	1,497,497
販売費及び一般管理費	1,424,067
営業利益	73,430
営業外収益	
受取利息	9,855
受取配当金	8,337
投資有価証券評価益	9,642
その他	19,135
営業外収益合計	46,970
営業外費用	
支払利息	197
売上割引	11,455
為替差損	5,072
貸倒引当金繰入額	68,208
その他	0
営業外費用合計	84,935
経常利益	35,465
特別利益	
固定資産売却益	97
投資有価証券売却益	2,280
特別利益合計	2,377
特別損失	
固定資産処分損	29,952
投資有価証券評価損	999
投資有価証券売却損	45,077
その他	749
特別損失合計	76,779
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,936
法人税、住民税及び事業税	40,005
法人税等調整額	98,651
法人税等合計	138,657
少数株主利益	58,337
四半期純損失(△)	△235,931

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△38,936
減価償却費	419,770
貸倒引当金の増減額(△は減少)	66,566
退職給付引当金の増減額(△は減少)	36,831
受取利息及び受取配当金	△18,192
支払利息	197
投資有価証券売却損益(△は益)	42,797
投資有価証券評価損益(△は益)	△8,642
固定資産処分損益(△は益)	29,902
為替差損益(△は益)	5,072
固定資産売却損益(△は益)	△97
売上債権の増減額(△は増加)	702,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	246,566
仕入債務の増減額(△は減少)	△888,151
その他	△257,210
小計	338,497
利息及び配当金の受取額	18,476
利息の支払額	△197
法人税等の支払額	△283,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	151,000
定期預金の預入による支出	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△353,478
有形固定資産の売却による収入	2,169
有価証券の取得による支出	△100,000
信託受益権の取得による支出	△1,100,000
信託受益権の売却による収入	1,202,918
無形固定資産の取得による支出	△63,132
投資有価証券の取得による支出	△1,034
投資有価証券の売却による収入	199,850
関係会社貸付けによる支出	△60,000
貸付金の回収による収入	40,000
長期貸付金の回収による収入	18,068
敷金及び保証金の差入による支出	△622
敷金及び保証金の回収による収入	553
その他	△2,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△99,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,063

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,241
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△96,576
現金及び現金同等物の期首残高	3,876,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,780,220

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)

	塗料事業 (千円)	ファインケ ミカル事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	6,034,731	1,103,276	101,405	7,239,413	—	7,239,413
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	6,034,731	1,103,276	101,405	7,239,413	(—)	7,239,413
営業利益	83,167	100,141	47,268	230,577	(157,147)	73,430

(注) 1. 事業区分は、売上の集計区分によっております。

2. 各事業の主要な製品

塗料事業	合成樹脂塗料及びシンナー
ファインケミカル事業	LCD用微粒子、高機能性樹脂
その他の事業	廃溶剤の収集運搬

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「4. その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」②に記載のとおり、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。これに伴い、従来の方法によった場合と比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は塗料事業で1,519千円、ファインケミカル事業で20,818千円それぞれ減少しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間より、法人税法改正に伴い、有形固定資産の一部について耐用年数の変更を行っております。この変更に伴い、従来の方法によった場合と比べ、営業利益が塗料事業で11,985千円減少、ファインケミカル事業で1,755千円増加しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年11月1日 至平成21年7月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年11月1日 至平成21年7月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	738,786	28,725	767,511
II 連結売上高（千円）	—	—	7,239,413
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	10.2	0.4	10.6

（注） 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

（1）アジア・・・韓国、台湾、中国等

（2）その他の地域・・・アメリカ、ブラジル

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年7月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年10月期第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	9,700,960
II 売上原価	7,194,262
売上総利益	2,506,698
III 販売費及び一般管理費	1,692,150
営業利益	814,548
IV 営業外収益	45,930
V 営業外費用	26,689
経常利益	833,789
VI 特別利益	98
VII 特別損失	50,051
税金等調整前四半期純利益	783,837
税金費用	367,073
少数株主利益	62,936
四半期純利益	353,827

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年11月1日～平成20年7月31日)

	前年同四半期 (平成20年10月期第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期(当期)純利益	783,837
減価償却費	459,209
売上債権の増減額	134,357
たな卸資産の増減額	△76,976
仕入債務の増減額	19,504
その他	△115,330
小計	1,204,601
利息及び配当金の受取額	22,568
法人税等の支払額	△599,406
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,763
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△626,565
有形固定資産の売却による収入	2,047
無形固定資産の取得による支出	△14,600
信託受益権の取得による支出	△1,400,000
信託受益権の売却による収入	1,403,280
投資有価証券の取得による支出	△172,059
投資有価証券の売却による収入	65,500
関係会社短期貸付金の貸付による支出	△40,000
関係会社短期貸付金の回収による収入	40,000
関係会社長期貸付金の回収による収入	5,702
その他	△2,734
投資活動によるキャッシュ・フロー	△739,429
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△1,370
配当金の支払額	△190,899
自己株式の取得による支出	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,296
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	144
V 現金及び現金同等物の増減額	△303,818
VI 現金及び現金同等物の期首残高	4,001,403
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,697,585

6. その他の情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年7月31日)
塗料事業 (千円)	6,034,731
金属用塗料 (千円)	2,392,956
木工建材用塗料 (千円)	1,459,494
無機材用塗料 (千円)	1,299,747
その他 (千円)	882,533
ファインケミカル事業 (千円)	1,103,276
その他の事業 (千円)	101,405
合計 (千円)	7,239,413

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。